

あいち航空ミュージアム展示内容再構成整備に係る展示実施設計・展示製作工事  
基本仕様書

## 1 目的

あいち航空ミュージアム（以下「ミュージアム」という。）は、2026年度に開館10年目を迎え、新たに「スペースジェット」を展示するとともに、未来の空モビリティを紹介するなど、「あいちの技術と空への挑戦」を体感させる施設へとリニューアルを行う。

ミュージアムのリニューアルにあたっては、2025年度に「展示基本計画図書」、「展示基本設計図書」及び「天井設備（照明・防災設備）機器更新等基本設計図書」（以下「基本設計図書」という。）を策定したところである。本業務では、当該基本設計図書に基づき、デザインビルド方式により、展示実施設計・展示製作工事を行う。

## 2 工期

契約締結日から2027年1月29日（金）まで

## 3 基本条件

### （1）ミュージアムについて

項目	内容	
場所	西春日井郡豊山町大字豊場（県営名古屋空港内）	
規模	地上2階+屋上階（幅：約90m 奥行：約58m 高さ：約22m）	建築面積：約5,700 m <sup>2</sup> 延床面積：約7,900 m <sup>2</sup>
開館日	2017年11月30日	
指定管理者	名古屋空港ビルディング株式会社 （指定管理期間：2024年4月1日～2029年3月31日）	
開館時間	午前10時～午後5時	

展示物等についてはウェブサイトを参照 <https://aichi-mof.com/>

### （2）再構成整備の対象とする範囲

ミュージアム1階及び2階を再構成整備の対象とし、屋上展望デッキは再構成整備の対象から除外する。

### （3）業務の前提条件

ア 本仕様書に記載されていない事項は「公共建築工事標準仕様書（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）」、「公共建築改修工事標準仕様書（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）」、「公共建築工事特記仕様書（愛知県建築局）」、「建築工事事務の手引（愛知県建築局）」及び「建築設計業務委託共通仕様書（愛知県建築局）」によるものとする。ただし、展示の特殊性を鑑み、詳細に関しては発注者と協議する。

- イ 展示実施設計の与件資料として、基本設計図書を適用する。
- ウ 展示製作に必要な許諾が生じた場合は、発注者と協議の上、実施すること。
- エ 展示製作にあたっては、展示物の所有者との調整を十分に行う。また、別途発注者が発注する実機展示の機体移動を請け負うものと十分な打合せを行うこと。
- オ ミュージアムの指定管理者である名古屋空港ビルディング株式会社との連携・調整を十分に行うこと。
- カ 工事期間中にミュージアムの部分的な開館ができるよう調整すること。(ただし、SJ 搬入完了後は開館しない。)
- キ リニューアル前にイベントを実施するため、2027年1月15日(金)までに、展示製作の大部分を完了させること。
- ク 公共建築であるミュージアムに相応しい安全性や耐久性、メンテナンス性、バリアフリー及び多言語対応に十分配慮すること。

#### 4 業務内容

##### (1) 展示実施設計

基本設計図書に基づき、展示に関する実施設計を行う。なお、本業務は展示に関するハード及びソフトの設計の一切を含むものとする。

具体的には現況確認の結果、基本設計図書を補完する実施設計図書として、以下の図面を原則として作成する。

ア 実機展示及び展示物等の配置、展示構成・演出等に関する実施設計図書

(ア) 平面図、展開図(立面図)

(イ) 展示構成リスト等

イ 展示装置、什器・備品等の実施設計図書

(ア) 造作図、什器・備品図

(イ) 装置システム図等

ウ 情報伝達等に関する実施設計図書

(ア) 映像コンテンツ企画書(シノプシス)

(イ) グラフィック計画図等

エ 天井設備等に関する実施設計図書

(ア) 照明設備配灯図、配線系統図

(イ) 非常用照明設備配灯図、配線系統図

(ウ) 自動火災報知機設備配置図、配線系統図

(エ) 更新機器器具リスト及び姿図

(オ) 増設コンセント図、配線系統図等

オ 特記仕様書

カ 製作施工費予算書、日程計画書

(ア) 製作施工費予算書（見積書）

(イ) 日程計画書（工程表）等

キ その他

(ア) 関係法規、条令に基づく申請手続き等に関する協力を行うこと

(イ) テクリス登録を行うこと

(ウ) 展示内容（映像含む）については、必要に応じて有識者等専門家のヒアリングを実施すること

## (2) 展示製作工事

ア 原則として展示実施設計の内容に基づき、以下の事項を踏まえ、展示製作工事を実施する。

(ア) 施工計画書の作成

(イ) コリンズ登録を行うこと

(ウ) 工種毎の製作物進捗状況報告書の作成（概ね1か月ごと）

(エ) 必要に応じた製作図（施工図）の作成

(オ) 映像コンテンツ等の仮編集物を提示、本編集時のスタジオへ同行し、最終承認を得ること

(カ) グラフィック詳細図を作成すること（発注者側とは版下時に承認を得ること）

(キ) 天井設備（照明・防災設備）の機器更新

(ク) 展示コンセントの増設を行うこと

(ケ) 必要に応じて発注者立会いのもと、中間検査を実施すること

(コ) 竣工図の作成

(サ) 竣工写真の提出（5カット以上）

イ 以下の実機展示の移動費用については発注者負担とする。ただし、固定金物の機体からの取外し・撤去及び固定金物新規製作・機体への取付等設置については、請負代金に含めること。

- ・SJ、YS-11、MU300、MU-2、MH2000、MH2000（分解展示）、EH101、T-4（ただし、SJは固定金物新規製作・機体への取付等設置のみ、MU-2及びMH2000（分解展示）は、固定金物の機体からの取外し・撤去のみ。）

ウ 以下の工作物の撤去費については、請負代金に含めること。

- ・エンジンモックアップ、ランディングギア、エンジン模型展示鉄骨組パネル、SJキャビンモックアップ、EH101部品展示、フライングボックス

エ 以下の造作物等の移動費については、請負代金に含めること。

(ア) EH101関連物品及び造作物等移動費用

（作業時期）2026年7月上旬、同年11月実施予定

（作業内容）2人×3日間（うち1日はフォークリフト作業）×2回

(イ) 土嚢等移動費用

土嚢等は約 80m の止水板（重石は土嚢）・土嚢（2 段積）・土嚢（3 段積）の 3 列に配置したもの

（作業時期）2026 年 7 月上旬～同年 11 月上旬予定

（作業内容）土嚢等を、7 月上旬（予定）に別途指示する場所に移動し、11 月上旬（予定）に元の場所に移動する。なお、上記の 7 月上旬から 11 月上旬までの間に、土嚢等のうち、止水板（重石は土嚢）及び土嚢（3 段積）をセットで 5 回、元の場所に移動し、別途指示する場所に移動する。この作業の実施日は、事前に連絡する。

オ 現場電気代（館内照明及び館内空調含む）及び水道代は請負代金の共通費に含めること。なお、これに係る費用は一千万円程度が見込まれる。

カ 使用する画像や物品等の許諾は請負者で実施すること。また、画像や物品等を購入する必要がある場合、費用は請負代金に含めること。

## 5 業務のスケジュール（予定）

2026 年 4 月 展示実施設計着手

6 月 展示実施設計完了

6 月 展示製作工事着手

2027 年 1 月 展示製作工事完了

## 6 成果物の提出

### （1）成果物（展示実施設計）

ア 展示実施設計図書：正副各 1 部

イ 製作施工費予算書：正副各 1 部

ウ 日程計画書（工程表）：正副各 1 部

エ 上記電子データ：1 式（納品方法については別途指示する）

### （2）成果物（展示製作工事）

ア 竣工図書：正副各 1 部

イ 機器取扱説明書及び保証書：正副各 1 部

ウ 工事記録等：正副各 1 部

エ 上記電子データ：1 式（納品方法については別途指示する）

## 7 留意事項

- ・請負者は、発注者が定める書類（完了届、請求書等）を提出すること。
- ・本事業で知り得た情報は、管理・保管を厳重に行い、外部への漏えいに十分注意すること。なお、発注者が提供する写真・資料等の使用は、本事業の目的のみに限ることとし、発注者の許諾なく複製し、また、公表することはできない。

- ・事業の実施に当たり疑義が生じた場合、事前に発注者と十分協議を行うこと。また、進捗状況及び今後の進め方等を発注者に逐次報告するほか、必要に応じて打合わせを実施すること。
- ・事業遂行に必要となる一切の経費は、請負者が負担すること。
- ・業務の遂行にあたっては、関係法令等を遵守すること。
- ・業務完了後、5年間、本業務に係る会計帳簿及び証拠書類を発注者の求めに応じていつでも閲覧に供することができるように保存しなければならない。